

平成28年度における関係団体の取組状況

1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
<p>県下10の地区における全般的な取組</p> <p>1 学校における「食育の全体計画」の整備・見直しに努めている。</p> <p>2 教科、総合的な学習の時間、特別活動（学校給食の時間）等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。</p> <p>3 専門的知識を持つ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーに迎えた授業を行い、食の指導に生かしている。</p> <p>4 学校保健委員会の活動に生かし、児童のみならず、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について考える機会の設定に努めている。</p> <p>※ 食育イベントを開催して、栄養教諭、学校栄養職員が給食の紹介や食育のクイズやゲーム等をしている地区がある。</p>	
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 子どもの健康課題への取組として、食育の性格上、家庭との連携は欠かせない。養護教諭と連携して、個別指導に取り組んでいる地区がある。</p> <p>2 栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた出前授業を一部の学年ではなく、全学年での実施を掲げている地区がある。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なことの例	<p>1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。</p> <p>2 PTAが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの食育に取り組んでいる地区がある。（講話、調理実習等）</p> <p>3 参観日の機会を利用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え講演をした地区がある。</p> <p>4 学校栄養職員の活用が重視され、多くの学校で学校保健委員会や学級活動（保健、家庭）、クラブ活動等での活用が見られている地区がある。</p>

2 青森県中学校長会

活 動 内 容	
<p>1 「家庭科」「保健体育」の授業で、学習のねらいを達成できるようにしている。</p> <p>2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。（県産食品の紹介をしている。）</p> <p>3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食のよさを再認識できるよう努めている。</p> <p>4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 （学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食だより」「お知らせ」の活用など）</p>	

3 青森県高等学校長協会

活 動 内 容

これまでの取組を継続させるとともに、さらなる充実に努めている。高等学校においては、学校の教育活動全体を通して行われるものであるが、特に男女必修科目「家庭科」においては、以下のとおり、生活全体の中での食生活の営みという視点を持って指導に努めている。

- ①生涯を見通した食生活を営む力を育むため、ライフステージごとの食生活について考える機会を作っている。
- ②栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させる実験・実習を用いた体験的な授業を行っている。
- ③安全と環境に配慮し主体的に食生活を営む力を身に付けさせるようにしている。
- ④「自分で食事を作る」「お弁当の日」など、食材を意識させる機会を設けている。
- ⑤食生活上の課題を把握し、それらを解決するために学校家庭クラブ活用やホームプロジェクトを利用し、食育に関する実践的活動に積極的に関わるよう指導している。

食に関する専門科目においては、以下のとおり我が国の食を取り巻く環境の変化や食生活の多様化、国民の健康増進の重要性を考えた、食育の推進を図っている。

- ①食生活が健康に影響することについて、資料や外部講師を活用し、国民健康・栄養調査、朝食の欠食、栄養の偏り、食習慣の乱れ、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足などの実態や生活習慣病が増加していることなどの、具体的に考える機会を通じて、食生活の改善に主体的に取り組む力を身に付けさせるよう授業を行っている。
- ②地域の実態を把握し、保育所や幼稚園等、小学校・中学校、特別支援学校、地域における社会教育団体やNPO（特定非営利活動法人）、企業や事業所などの各種団体等と積極的に連携して活動する機会を設けている。

4 青森県特別支援学校校長会

活 動 内 容

青森県特別支援学校校長会としての事業等は行っていないが、会員それぞれが各校の学校経営において食に関する指導を進めるよう努め、次のように、幼児児童生徒の障害等に応じた食に関する取組を行っている。（各校の主な取組を集約）

授業における取組 研修会としての取組	1 幼児児童生徒を対象とした栄養教諭による授業、栄養士や外部講師による講話等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考慮した弁当づくり ・栄養の仲間分け ・現場実習中のバランス良い食べ方、昼食選び ・望ましい食生活 ・生活習慣病について ・食中毒の予防 ・肥満児童生徒へのおやつへの摂り方についての個別指導 ・減塩に関する食の指導（麺の食べ方、パック調味料の使い方等） ・自分で食事を準備できるようにするための調理活動 ・食育講話 ・食育に関するクイズ ・作業学習で栽培した農作物を利用した調理学習及び食品加工 ・教科の学習内容と連動した献立の実施 ・地元のPRキャラクターを活用した地元特産物の紹介 ・和食、日本型食生活について
-----------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房探険 ・ 学校給食習慣でのミニ講話 ・ 給食委員会活動（放送、掲示、嗜好調査） <p>2 保護者を対象とした講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食試食会 ・ 給食レシピの提供や携帯食調理法の指導 ・ 肥満児童生徒への食事調査及び個別指導 ・ 郷土食料理教室（そば打ち体験等）を実施 ・ 非常食の新備蓄法「ローリングストック」 ・ 学校給食のねらいと減塩に関する講話 ・ だし活に関する講話 ・ 食物アレルギーや偏食のある児童生徒への対応 <p>3 職員を対象とした講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた食形態 ・ 肥満児童保護者に対する指導 ・ 食物アレルギーや偏食のある児童生徒への対応
イベント的取組	<p>1 食品を選択する力や食事のマナー・社会性等の育成、給食や食事をする事への興味・関心の高まりや心身の健康等を期待して取り組む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイキング給食 ・ リクエスト給食 ・ セレクト給食 ・ 行事食 ・ 他県の名物料理の給食 ・ テーブルマナー教室 ・ 野菜に関するクイズ ・ 新入生が考えた献立の給食 <p>2 地場産物への関心や食文化の伝承などに係る内容を期待して取り組む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国、県内の郷土料理の給食 ・ 県産食材や地場産物を活用した給食 ・ ふるさと産品給食の日（レプリカ展示とスペシャルクイズ） ・ 郷土料理教室（そば打ち体験・芋餅作り等） ・ 給食献立への地産地消情報の掲載 ・ 県産食材の使用
その他の取組	<p>1 学校菜園での野菜栽培と給食への活用、調理実習の実施</p> <p>2 食育に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育ポスターの展示、「給食だより」「食育だより」「保健だより」「学級通信」等の発行、掲示 ・ ラジオ番組による献立等の紹介 ・ クイズを交えた「給食ひとくちメモ」の放送 ・ 歌で覚える「あおもり型」の食べ方指導 ・ 校内放送で県産食材、食材の歴史、由来、栄養などを紹介 ・ 給食で使われている食材や珍しい食材等の展示 ・ 地場産物、郷土料理の歴史、由来、栄養などの資料の掲示 <p>3 学校給食献立コンクール等への参加</p> <p>4 寄宿舎と連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流給食 ・ テーブルマナー学習の実施 ・ 外食経験等による食の知識等の向上 ・ 食に関する講話の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験（調理体験）の実施
5	地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・もちつき会の開催 ・地域の水田や人材を活用した米作り学習 ・学校祭における調理
6	食に関する全体計画の策定

5 青森県私立幼稚園連合会

事業名	平成28年度青私幼第2回園長協議会（理事長・園長合同会）特別講演
期 日	平成29年2月8日（水）
連携団体	ホテル青森
活動内容・参加者等	演 題 「防災に対する心構え～食育の視点から」 講 師 飯田和子先生 栄養士・調理師・国際薬膳士 中医薬膳専門栄養士 1 フェーズフリー 2 備蓄提案と災害時レシピ 参加者 67名

6 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
2	「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催 ○期日：平成28年11月2日（水） ○会場：むつ市立第一田名部中学校
3	学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援
取組の具体的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

7 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	平成28年6月～平成29年3月
連携団体	県内各所
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、（公財）青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。

8 公益財団法人 青森県学校給食会

活 動 内 容

- 1 学校給食に「生きた教材」として、本県で生産された農畜産物及び水産物を年間を通して安定的に供給できるよう、県農林水産部、農協、漁協等の協力、支援を頂き、地場産品の商品の開発・加工に取り組んでいる。
 平成28年度の県産冷凍カット野菜は、引き続き、「ほうれん草」、「小松菜」等の加工を行い、供給を行った。新たに、県内メーカーの協力を頂き青森県産の「たまねぎ」、「じゃがいも」の加工品を開発し、平成28年11月から供給を開始した。
 また、県産の水産・畜産加工品については、24年度に「イカ」、「イワシ」、25年度に「サケ」、26年度に「トビウオ」、「青森シャモロック」の加工品の開発を行った。
 更に、県産食材の利用率向上を図るため、地場産物加工品を製造できる県内工場の開拓等の取り組みを行っているほか、青森県産食材を使用した学校給食向け「だし商品」の取扱いの充実を図り、「だし」を活かした減塩の推進、「だし商品」の普及啓発に努めている。
- 2 学校給食用小麦粉パンについては、主原料を県産小麦ゆきちからを100%使用し、更に食塩を減量した新たな配合の小麦粉パンと雪にんじんパンを商品開発し、平成28年度から供給を開始した。
 また、平成26年10月より新たな多様化パンとして、地場産物の消費拡大の観点から県産雪にんじんペーストを25%混入し、かつ乳アレルギーに対応した雪にんじんパンの供給を開始している。
- 3 学校給食用米粉パンについては、平成23年度から県産小麦ゆきちからと県産米粉を原料とした県産品100%の米粉パンの供給を行っている。平成29年度より小麦粉パン及び雪にんじんパンと同様に食塩を減量し、更にグルテンを減量した新たな配合の米粉パンの供給を開始することとしている。
- 4 学校給食用米穀の需要拡大の取組みとして、青森県内における米飯給食実施平均回数が週3.19回（平成27年度）と全国平均の週3.40回を下回っていることから、全農あおもり、県農林水産部とともに実施回数週3回の市部の教育委員会に対し実施回数の増加について働きかけを行っている。
- 5 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類）を指導教材として作成し、学校・食育関係団体等に貸出を行っている。
- 6 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。
- 7 地場産品を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。
 また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるよう商品開発を行った。

取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。
-----------------	--

9 青森県学校給食センター連絡協議会

活動内容	
学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んだ。	
取組の具体的手法や特徴的なこと	学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。

10 青森県養護教員会

活動内容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、過程・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養教諭（栄養教諭や栄養士）と連携した発達段階に対応した学級における「食」に関する指導の計画・実施 ・学校保健委員会での、「食」に関する議題や話題の提供。保健師や栄養教諭等と連携し、あおもり型給食や減塩食についての児童・保護者への周知と啓蒙。健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施 ・食物アレルギーについての職員を対象にした研修の実施 ・歯・口の健康に関連した「食」についての指導の実施 ・参観日や学年委員会等での、児童・保護者への給食の試食や調理実習の開催、保健師や栄養教諭による「食」に関する講話の実施 <p>2 県または各郡市において、会員の研修会や情報交換の場を設定し、児童生徒の健康課題改善のため、「食」に関する実践の紹介や研修を実施して資質の向上を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する専門家や栄養教諭による「子どもの健康を守る食べ方・生き方」等に関する研修会の実施 <p>3 28年度10月より運用を開始した本会のHPに県の「食」に関する情報や研修会の案内等を掲載し、会員の「食」に関する情報の周知や、研修会の紹介に努めている。（青森県農林水産部食の安全・安心推進課、あおもり食命人自立活動支援事業のページとリンク）</p>	
取り組みの具体的手法や特徴的なこと	<p>栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。</p> <p>そのため、自校の健康課題を見据え、多岐にわたる「食」に関する内容の中でも、今自校の児童生徒に必要な事項を考えて関係職員・関係機関と計画を立案し、最優先課題を意識的に盛り込んでいける利点もある。</p> <p>今後も「児童生徒へのヘルスプロモーション」を常に念頭に置きながら、自校の職員や家庭・地域・関係機関と連携して「食育」に取り組んでいく。</p>

1 1 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容	
<p>1 毎年6月、11月に「ふるさと産品給食の日」と名付け、県産品や地域の産品を多く取り入れた給食を実施している。</p> <p>2 県スポーツ健康課のあおもり型給食促進事業を受けて、5つのコンセプトである、「塩分ひかえめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝」に沿った献立を作成し実施している。</p> <p>3 体格から個人に応じた推定エネルギー必要量を算出する「栄養管理システム」を活用して、給食管理を行い、肥満解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>4 食の指導として、給食時間の一言指導や、家庭科や保健体育の時間にバランスのとれた食事のとり方や、健康的な生活の過ごし方などの指導を行っている。 また、勤務校や他校の学校保健委員会では養護教諭と連携し、健康的な食生活をおくるための助言を行っている。</p> <p>5 児童生徒に喜ばれる給食を目指し、料理人を講師に迎えて調理講習会を開催し、会員の資質向上に努めている。会員が講師となり、勤務校や他校の保護者に対し、家庭の食生活の改善のため、調理講習会を行っている。</p>	
取り組みの具体的な手法や特徴的なこと	<p>1 「ふるさと産品給食の日」には、給食だよりや校内放送等で紹介し、児童生徒、保護者に対して地産地消の啓発を図っている。</p> <p>2 あおもり型給食の普及については、県総合販売戦略課で開発した「できるだし」を使った減塩料理や野菜をたっぷり使ったおいしい料理などを、調理講習会で保護者に伝達する。</p> <p>3 調理講習会では、和食給食応援団を活用し、日本型食生活の基本である米飯に地産地消を取り入れたメニューでのレシピで実施し、青森らしさあふれる和食給食が学べるものとする。</p>
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 児童生徒の肥満の解消については、改善に向けて効果を上げる方策を研究し、実践していきたい。</p> <p>2 食の指導については、県内広範囲に実践できるように、関係職員と連携して取り組んでいきたい。</p>

1 2 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

活 動 内 容	
<p>1 食育活動の継続 (1) 食の安全・安心推進事業 (2) 地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (3) 食品ロス削減推進事業</p> <p>2 重点的な取組内容</p>	
事業名①	食の安全・安心推進事業 (5回)
期 日	平成28年4月～平成29年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会、フォーラム、研修会、学習会・料理講習会等を開催

	<p>■4月19日(火) 「食品の表示について学ぼう」 講師：消費生活大学院生 鹿内 勇氏 会場：県民福祉プラザ3F 共用研修室1</p> <p>■5月25日(水) 平成28年度 消費生活大学講座 第1回 「食品表示と食品安全について～安心して摂取できる食品選び～」 講師：消費者庁審議官 吉井 巧氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p> <p>■9月28日(水) 平成28年度 消費生活大学講座 第4回 「誤解だらけの食べもの情報～豊かで健康的な食生活のために～」 講師：群馬大学名誉教授 高橋 久仁子氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p> <p>■12月12日(月) 「遺伝子組み換え技術の最先端情報を知ろう！」 講師：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課 谷貝 美奈子氏 会場：県民福祉プラザ3F 共用研修室1 ・農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課、青森県消費者協会共催</p> <p>■12月14日(水) 「平成28年度安全・安心な農産物生産推進大会」参加 基調講演：「健康な土づくりによる持続可能な農業の実践」 講師：(株)ジャパンバイオフィーム代表取締役 小祝 政明氏 会場：青森国際ホテル3階 萬葉の間 ・県食の安全・安心推進課</p>
事業名②	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業(10回)
期 日	平成28年4月～平成29年3月
場 所	青森市、おいらせ町、南部町
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための料理講習会、バスツアー等を実施。</p> <p>■5月14日(土) 「食命人 柿崎和江さんの講話&ランチの集い」 講師：アートホテルカラー青森 レストランチーフ 柿崎 和江氏 会場：新町アートホテル3F ロビー</p> <p>■6月2日(木) 「マヨネーズ&卵のお話」 講師：キューピータマゴ株式会社 仙台営業所 藤原 剛氏 会場：県民福祉プラザ 多目的室4B</p> <p>■9月9日(金) 「食からの健やか力向上～短命県返上に向けたチャレンジ～」 基調講演「あなたの健康情報、大丈夫？」 講師：京都大学大学院医学研究科社会健康医学系健康情報化分野 中山 建夫氏 会場：リンクステーションホール青森 大ホール ・第63回日本栄養改善学会学術総会主催 青森県消費者協会共催</p>

■9月26日(月)

「ふわふわ・もちもち・美味しい 手づくり肉まん」料理教室

講師：大学院会員 大森 頼子氏

会場：県民福祉プラザ 調理実習室

■10月7日(金)

「環境にやさしい農業 産地見学ツアー」

コース：県民福祉プラザ→ナチュラルファーム(おいらせ町)→農園レストラン

「百果良彩」(おいらせ町)→糸山果樹園(南部町)→青森市

・県食の安全・安心推進課、青森県消費者協会共催

■10月30日(日)

「あおもり食命人の食フェア 第6弾」参加

テーマ「昭和天皇の食と家庭の食～身土不二・一物全体の心を学ぶ～」

講師：谷部 金次郎氏

会場：ねぶたの家ワラッセ イベントホール

・県食の安全・安心推進課

■11月8日(火)

「第3回 エコ農業学校」参加

基調講演「こだわりのエコ農産物の魅力を情報発信」

講師：ノースビレッジ合同会社 代表 栗谷川 柳子氏

会場：アスパム 「奥入瀬」

・県食の安全・安心推進課

■11月9日(水)

第52回青森県消費者大会

「つながろう 広げよう！～安全・安心な社会を目指して～」

・基調講演「food is gift 食べ物は毎日出来る身体とところへの贈り物」

講師：なぎさカフェオーナーシェフ 食育料理家 なぎさ なおこ氏

会場：県民福祉プラザ 県民ホール

・食の安全・安心及び県産食材利用推進のため、9団体から出展

会場：県民福祉プラザ4F 交流スペース 大・中研修室

■11月14日(月)

「平成28年度攻めの農林水産業推進大会」参加

特別講演「農業カンパニーを目指して～人材確保の工夫～」

講師：(株)ベジアーツ代表取締役社長 山本 裕之氏

特別講演「農業の担い手不足・労働力不足問題について」

講師：農業ジャーナリスト 窪田 新之助氏

会場：青森国際ホテル「萬葉の間」

・県農林水産政策課

■2月12日(日)

「あおもり食命人シンポジウム2017」参加

テーマ：「人・心・命をつなぐ食を伝える」

講師：大分県佐伯市企画課食育推進係長 柴田 真佑氏

会場：リンクステーションホール青森

・あおもり食命人ネットワーク、青森県

事業名③	食品ロス削減推進事業（2回）
期 日	平成28年4月～平成29年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会、料理講習会の開催</p> <p>■7月27日（水）</p> <p>平成28年度 消費生活大学講座 第3回 「買い物から社会を変える～持続可能な社会を目指して～」 講師：認定NPO法人環境市民理事 フリーランスアナウンサー 下村 委津子氏 場所：県民福祉プラザ 県民ホール</p> <p>■12月21日（水）</p> <p>「もったいない・あおもり県民運動推進大会」 参加 基調講演「生ごみの減量とリサイクル」 講師：ごみ減量ネットワーク代表 北井 弘氏 会場：ねぶたの家ワ・ラッセ2F イベントホール</p> <p>・県環境生活部環境政策課</p>

1 3 青森県食生活改善推進員連絡協議会

活 動 内 容	
1	<p>おやこの食育教室 食べ物に感謝する気持ちを育み、マナーやバランスの良い食べ方、調理の仕方を学ぶ。</p>
2	<p>男性料理講習会 生活習慣病予防や減塩、食育をテーマに調理実習、講話、健康相談を実施。</p>
3	<p>高齢者の低栄養、ロコモ予防教室 “延ばそう健康寿命”をテーマに、高齢期の食事の調理講習会・講話を開催。</p>
4	<p>食育推進事業 地域住民、一般成人、中高生を対象に、望ましい食習慣・知識などを普及啓発。</p>
5	<p>だし活事業（県委託） 県産品のだし商品の良さを理解し、今後の活用につなげ、又、減塩普及啓発につなげる。</p>
6	<p>食事バランスガイド推進事業 食事バランスガイドの普及浸透を図るために、調理実習・講話・伝達調理を実施。</p>
7	<p>地域をつなぐ、世代をつなぐ事業 世代をこえて、地域ぐるみで健康づくりに取り組み、“減塩と野菜あと一皿”を普及啓発。</p>
事業名①	家庭訪問による減塩普及活動
期 日	平成28年10月～
場 所	青森県内 5,000軒目標達成
活動内容・参加者等	若年世代への家庭訪問を実施し、各家庭のみそ汁塩分チェックと野菜あと1皿（70g）の必要性をリーフレットにより普及に努める。
事業名②	地域職域におけるヘルシーあおもり健活普及事業……研修会（県委託）
期 日	平成28年10月～11月
場 所	青森県内7か所実施
活動内容・	10代後半から30代の若い世代に、望ましい食事の普及と生活習慣病の予防をはかる

参加者等	目的の調理実習と講話。 ※高校生、若年世代の男女対象。アンケート実施：回収・集計。
事業名 ③	地域職域におけるヘルシーあおもり健活普及事業……イベント（県委託）
期 日	通年
場 所	県内 10 か所（1 か所 300 人程度）
活動内容・参加者等	イベントなどに参加している人を対象に、試食提供によるメニューの普及とアンケート調査の実施・回収・集計をする。 ※イベントに会場に来る一般住民対象。
事業名 ④	だし活伝道師育成研修会（県委託）
期 日	平成 28 年 8 月～9 月
場 所	県内 8 か所
活動内容・参加者等	「だし」の良さを理解し、今後の活用につなげ、又、減塩普及啓発につなげ、家庭や地域に浸透定着することを目指す人の育成。 ※保健協力員、栄養士会、食育サポーター、スーパー量販店の方も対象。
事業名 ⑤	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業（若者働き世代）
期 日	平成 28 年 11 月～
場 所	青森県内 13 か所、30×13=390 名。
活動内容・参加者等	規則正しく、バランスの良い食習慣の定着を図る目的で、ミニ講話と調理実習を実施。 ※高校生～30 才代男女を対象。
事業名 ⑥	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業（壮年・高齢世代）
期 日	平成 28 年 11 月～
場 所	青森県内 12 か所、30×12=360 名。
活動内容・参加者等	生活習慣を見直し、健康な体づくり・規則正しい食生活の定着を図る目的で、ミニ講話と調理実習を実施。 ※40 才～60 才代後半以上の男女を対象。
取り組みの具体的な手法や特徴的なこと	・事業に協力してもらうため、学校、団体、イベントなど、直接交渉して事業主旨を説明し、理解してもらう。 ・試食提供してのアンケート実施は、スムーズな流れは難しい。 ・若者、働き世代は、託児所を設けて対処。 ・壮年、高齢世代は、老人クラブなどに交渉。

1 4 青森県生活協同組合連合会

活 動 内 容
1 食育活動の継続 (1) 産地交流、工場見学、農作業体験、収穫体験 (2) 親子でクッキング、キッチンシリーズ（子ども食育企画）コープで離乳食、 (3) 田植え・稲刈り体験（食育クイズ実施）2 か所の保育所から園児が参加 (4) 児童館で小学生を対象に健康チェックと料理教室 (5) 食の安全に関する学習や出前講座の推進 (6) つどいでの調理・だし活学習、減塩調理実習、男の料理教室、郷土食づくり講習 (7) 旬がおいしい青森のおさかな消費拡大事業（簡単レシピ配布、お魚料理教室）

2 重点的な取組内容	
事業名 ①	海の勉強会（うみべん）協賛
期 日	（1）平成28年7月9日（土）
場 所	青森ウォーターフロント内
活動内容・参加者等	放流魚、アマモの勉強会、ワークショップ体験 簡単な食育クイズ
期 日	（2）平成28年8月10日（水）、11日（木）
場 所	野辺地町
活動内容・参加者等	ホタテ養殖についての講習会・船上見学体験、アジの開き方実習と調理 （対象者（1）、（2）とも小学校4年、5年、6年と保護者）
事業名 ②	生協ふれあいの森 植樹祭の実施
期 日	①平成28年5月15日（日）、②平成28年6月12日（日）
場 所	県内2か所（①青森市眺望山「自然休養林」、②十和田市仙人平「蔦の森」）
活動内容・参加者等	（1）牛乳パック回収運動で得た収益金で「ヒバ」と「ブナ」の苗木を購入し、青森森林管理署と三八上北森林管理署から借り受けた国有林に植樹。 （2）両管理署のご協力、山と食の関係、山と海の関係、木材のことなどを学習し植樹。自然観察も実施。

15 青森県生活研究グループ連絡協議会

活 動 内 容	
各地区生活研究グループ連絡協議会が企画し、以下の取組みが実施された。	
事業名 ①	「津軽の味っこ」伝承料理講習会（弘前地区連）
期 日	平成28年12月25日（日）
場 所	弘前市 清水交流センター 調理室
活動内容・参加者等	○内 容：郷土料理（6品）の調理実習、参加者との交流 ○参加者：弘前市一般市民34名、生活改善グループ員6名、 中南部民局地域農林水産部1名 計41名 郷土料理を若者や子ども達の嗜好にも合うように味付けを工夫し、食の文化伝承財として伝承していくために、平成24年度から開催しており、平成26年3月には「津軽の味っこII（郷土料理本）」を発行している。
事業名 ②	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会（黒石地区連）
期 日	平成29年1月21日（土）
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	○内 容：郷土料理（5品）の実習、意見交換 ○参加者：1・2年生33名、教職員4名、生活改善グループ員11名、 中南部民局地域農林水産部1名 計49名 平成20年度から年1回実施している（今年度で9回目）。郷土料理メニューは学校からの意見を取り入れながらグループ員が検討し、事前に技術向上研修を行い伝承会に臨んでいる。
事業名 ③	東北女子短期大学の講義「高齢者と生活」における郷土料理の伝承活動（平賀地区連）
期 日	平成28年7月4日（月）

場 所	東北女子短期大学
活動内容・参加者等	<p>○内 容：・津軽地域に伝わる料理の実習（しとぎもち、なすのしそ巻き、ほうれん草と菊、イカのくるみ味噌和え）</p> <p>・ミニ講話「農業と食の楽しさを伝えたい」</p> <p>・学生との交流</p> <p>○参加者：生活科学生 24 名、生活改善グループ員 4 名、中南県民局地域農林水産部 1 名 合計 29 名</p> <p>地区連で作成した「和え物レシピ（H22 作成）」に掲載している料理を取り入れ、料理の伝承と合わせて普段使われなくなった調理器具「すり鉢」でのあえ衣づくり体験も実施している。</p>
事業名 ④	平川市立平賀東中学校における郷土料理伝承会（平賀地区連）
期 日	平成 29 年 1 月 18 日（水）
場 所	平川市立平賀東中学校
活動内容・参加者等	<p>○内 容：津軽地域に伝わる料理の実習（しとぎもち、ほうれん草と菊、イカのくるみ味噌和え）</p> <p>○参加者：2 年生 60 名（2 クラス）、生活改善グループ員 6 名、中南県民局地域農林水産部 1 名 合計 67 名</p> <p>地区連で作成した「和え物レシピ（H22 作成）」に掲載している料理を取り入れ、料理の伝承と合わせて普段使われなくなった調理器具「すり鉢」でのあえ衣づくり体験も実施している。</p>
事業名 ⑤	食育推進応援隊～伝えたい味と技～（つがる市連）
期 日	平成 28 年 11 月 22 日（火）
場 所	つがる市生涯学習センター「松の館」
活動内容・参加者等	<p>○内 容：地元食材を活用した伝統料理の調理実習（5 種類）と消費者交流</p> <p>○参加者：一般消費者 29 名、市連会員：7 名、支援機関：2 名</p> <p>○講 師：つがる市連会員</p> <p>○対 象：つがる市民で伝統料理に関心のある一般消費者。</p>
事業名 ⑥	手作りの味と技を楽しむ会（鱈ヶ沢地区連）
期 日	平成 28 年 9 月 8 日（木）
場 所	鱈ヶ沢町総合保健福祉センター
活動内容・参加者等	<p>○内 容：地元食材を活用して簡単に作れるお菓子づくりの実習（1 種類）と消費者交流</p> <p>○参加者：一般消費者 7 名、地区連会員 17 名、支援機関：1 名</p> <p>○講 師：鱈ヶ沢地区連会員</p> <p>○対 象：西北地域の料理に関心のある一般消費者</p>
事業名 ⑦	奥津軽の味・技交流会（金木地区連）
期 日	平成 29 年 1 月 26 日（木）
場 所	中泊町中央公民館
活動内容・参加者等	<p>○内 容：「野菜をたくさん食べて、健康家族！」をテーマに、野菜料理の実習（3 種類）と実演（2 種類）、地区連プロジェクト活動の紹介及び女性組織との座談会</p> <p>○参加者：旧金木地区の女性組織・団体 27 名、地区連会員 17 名、支援機関 3 名</p>

	○講 師：金木地区連会員 ○対 象：旧金木地区の女性組織・団体（J A女性部、J F婦人部、V i C・ウーマン奥津軽支部等）
--	--

16 一般社団法人 青森県調理師会

事業名	親子料理教室
期 日	平成28年7月25日(日)
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	小学生の親子11組23名が参加 県産食材を使った講習会を開催
取組の具体的な手法や特徴的なこと	県産食材を使った減塩、油脂を控えたバランスの良い料理を講習。 食事のマナーも教えます。
備 考	平成16年より毎年実施。

17 青森県料理飲食業生活衛生同業組合

事業名①	ものづくりフェア
期 日	平成28年10月29日、30日 2日間で950名
場 所	ねぶたの家 ワ・ラッセ
活動内容・参加者等	地場産品を活用した創作料理の展示。県産食材を活用し、地産地消の創作料理をテーマにした「第9回青森県料理コンクール」における優秀作品を展示。
事業名②	短命県返上プロジェクト
期 日	平成29年2月20日、30日
場 所	大鱈温泉 不二やホテル
活動内容・参加者等	健康食育弁当の開発、販売についての講習会。 当日は、先駆けて販売している東北女子大学の先生や管理栄養士の先生をお招きして の実際の健康食育弁当をサンプルとして試食。

18 青森県旅館ホテル生活衛生同業組合

事業名	あおもり地酒と料理のマリアージュ
期 日	平成28年4月23日(土)～平成29年3月31日(金)
場 所	県内組合員施設 45か所
活動内容・参加者等	県内20の酒蔵とタイアップ。県内のホテル・旅館、45施設が青森県産の地酒と地場の食材を使った地酒に合う料理を提供する企画。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県国際観光戦略局、青森県観光連盟が実施する、青森県・函館ディステーションキャンペーンに合わせ、青森県酒蔵組合とタイアップ。
備 考	平成29年度以降の企画は未定。

19 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	小学校5年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行
期 日	平成28年4月1日発行
活動内容・参加者等	小学校5年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成（児童用11,900部、教師用1,200部）。小学校5年生全員に配布。
事業名 ②	「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール
期 日	平成28年6～12月
活動内容・参加者等	毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業（特にお米やごはん食）を理解してもらうためにコンクールを実施。 ○対象：県内全小・中学校（実施校129校） ○作文294点、図画203点
事業名 ③	「バケツ稲づくり」
期 日	平成28年4月～
活動内容・参加者等	バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種籾（肥料付）、②栽培マニュアル、③手引書（教師用）を無償配布。 ○対象：全小学校（原則として5年生） 実施校52校 2,130セット
事業名 ④	J Aふるさと市
期 日	平成28年12月12～13日
活動内容・参加者等	J Aグループ青森、青森県漁業協同組合連合会、青森県森林組合連合会、（公社）青森県物産振興協会、あおもり産品販売促進協議会等8団体主催の、「青函交流圏大農林水産祭」に、J Aグループ青森は「J Aふるさと市」として出展し、消費者に対して県産農畜産物の安全性やおいしさをPRする試食販売会や、J A・協同組合の活動を理解してもらうためのPR活動を実施。 ○場 所：青森市「青森産業会館」 ○出店内容：りんご（生果）、りんごジュース、ながいも、にんにく、ごぼう、かぶ、長ねぎ、白菜、ゼネラルレクラーク、漬物、スイーツなどを販売

20 青森県J A女性組織協議会

事業名 ①	農業ふれあい教室
期 日	平成28年4月～29年1月
活動内容・参加者等	地域の子どもたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内5 J A女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。県内小学生257名が参加。
事業名 ②	作文・かべ新聞コンクール
期 日	平成28年12月
活動内容・参加者等	農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文：3小学校から14作品、かべ新聞：5小学校から13作品

事業名 ③	各JA女性部による地域に根ざした食育活動の展開
活動内容・参加者等	各JA女性部で、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。

2.1 全国農業協同組合連合会青森県本部

活動内容

JAの活動を通して「農業」に接することにより、地元や県産農畜産物への理解・愛着を深めてもらいたいという意図のもと、小学生・園児に向けて食育活動に取り組んだ。

1 紙芝居キャラバン：やさい部 やさい花き課

(1) JAゆうき青森の調理実習と共催で、「トリ☆ポン」のトークによる「青森いきいきやさい紙芝居」を実施した。

実施月日	市町村名	学校名	対 象
7月15日	六ヶ所村	南小学校	調理実習6年生12名 紙芝居全校児童78名
9月8日	東北町	水喰小学校	調理実習4・5・6年生13名 紙芝居全校児童28名
11月1日	野辺地町	馬門小学校	調理実習6年生12名 紙芝居全校児童43名
2月20日(予定)	青森市	三内小学校	紙芝居1年生児童57名
2月24日(予定)	田舎館村	畑中保育所	紙芝居全園児110名
2月27日(予定)	平川市	竹館小学校	紙芝居全校児童113名
3月7日(予定)	藤崎町	藤崎小学校	紙芝居6年生児童51名

※平成29年1月31日現在。平成29年度も実施予定。

2 食育体験（餅つき体験・バター作り体験）：営農対策部 販売企画課

農協会館1Fロビーでの「農畜産物即売会」や「歳末市」において、JA青森女性部の協力のもとに、子供達を対象に餅つきやバター作り体験などの食育活動に取り組んだ。

実施月日	催事名	実施場所	内容	備考
8月12日	農畜物即売会	農協会館	餅つき	
9月9日	〃	〃	餅つき バター作り	杉の子第2幼稚園 園児47名
10月14日	〃	〃	餅つき バター作り	杉の子幼稚園 園児80名
12月28日	歳末市	〃	餅つき	
12月29日	〃	〃	餅つき	

※平成29年度も実施予定。

2 2 青森県青果卸売市場協会

事業名	「八戸市中央卸売市場協力会」朝から元気に！夏休み親子市場見学会
期 日	平成28年7月23日（土）午前6時～9時
場 所	八戸市中央卸売市場
活動内容・参加者等	市場の仕組みと役割を紹介した子供向けDVDを視聴後、迫力ある青果部のせりを見学したり、実際にせり台に上がり模擬せりを体験。卸売場・バナナ棟・冷蔵庫棟等市場内施設の見学の他、朝食会と旬のフルーツの食べ比べ等を行った。 ※参加者：親子11組32名（大人14名+子供18名）
事業名	「八戸市中央卸売市場協力会」朝活！大人のための青果市場見学会
期 日	平成28年8月27日（土）午前6時～9時
場 所	八戸市中央卸売市場
活動内容・参加者等	食育DVDを視聴後、迫力ある青果部のせりを見学したり、実際にせり台に上がり模擬せりを体験。卸売場・バナナ棟・冷蔵庫棟等市場内施設の見学の他、朝食会と旬のフルーツの食べ比べ等を行った。 ※参加者：大人30名
取組の具体的なこと（他団体との連携など）	普段は公開されていない朝の活気あふれる青果市場を見学し、流通の仕組みや食文化、食の大切さなどについて理解を深めてもらおうと、市場内関係者が連携し実施している。案内役のガイドは、あおもり食育サポーターや野菜ソムリエの資格を有する知識豊富な市場内関係者が務め、また旬のフルーツの食べ比べのコーナーでは、卸売業者の野菜ソムリエが豆知識や栄養効能等も紹介している。

2 3 公益社団法人 青森県青果物価格安定基金協会

事業名	青森りんご出前授業
期 日	平成28年11～12月
場 所	県内小学校21校
活動内容・参加者等	小学児童を対象に、りんごの栄養、機能性成分、摂取目安量等の情報提供を通じ、県産りんご等の摂取促進を図るため、県りんご果樹課と連携して実施した。

2 4 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事業名	若年層を対象とした消費宣伝対策事業
期 日	平成28年9月～平成29年3月
場 所	青森県内、全国各地
活動内容・参加者等	<p><県内></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青森県内学校給食用としてりんごを提供 2 青森県りんご果樹課が実施する県内小学校での出前授業へのりんご、学童用資材の提供。 <p><全国各地></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園、小学校児童等を対象とした「青森りんご食育授業」 食育用の紙芝居などを活用した「青森りんご食育授業」などを全国各地で開催。 紙芝居は全国13地区青森りんごの会事務局に設置しているほか、本会ホームページ

	<p>ジにおいてデジタル紙芝居を配信中)</p> <p>2 食育モデル校へのりんご協賛、視察 愛知県豊橋市立富士見小学校で昭和 59 年の開校以来開催されている「校内りんご皮むき大会」にりんごを協賛したほか、ミスりんごが大会に参加。大会の様子は、りんごに関する食育活動の好事例として本会ホームページ等で紹介予定。</p> <p>3 食育レシピの開発 食育料理家に依頼し、りんごを使用した簡単なおやつレシピを開発。 小学生以下用、小学校低学年用、小学校中学年以上用と対象年齢に合わせたレシピにし、りんごの栄養や健康への効果なども紹介したリーフレットを作製。県内の量販店に設置したほか、全国各地で開催しているりんごの食育授業等で活用。レシピリーフレットは本会ホームページからダウンロード可能。</p> <p>4 県主催の「青森県知事直伝!親子で学ぶアップルスクール」にミスりんごが参加(北九州市、大阪市、金沢市)</p> <p>5 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校を対象として学習用、給食用りんごを提供。</p> <p>6 学童用資材の作製 りんごの品種やりんご作りの作業過程を紹介した下敷き、消しゴム、定規を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布。食育教材として活用。</p> <p>7 栄養系大学へのりんご提供 次世代の食育指導者となる管理栄養士、栄養教諭の養成課程がある首都圏の栄養系大学を対象に、調理実習やレシピ開発、研究対象としてりんごを提供。同時にりんごに関する情報を発信し、りんごに親しむ機会を醸成。 (H28 年度は「女子栄養大学」「お茶の水女子大」ほか全 13 大学に提供)</p> <p>7 ホームページでの「学校等青森りんご活用アイデア募集」 保育園から大学までを対象に、ホームページ上で青森りんごの活用法を募集し、採用校にはりんごを提供。活用の様子はホームページで紹介予定。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	<p>本会の構成団体である「全国 13 地区青森りんごの会」(約 200 の青果会社が加盟)とのネットワークを生かし、全国各地で食育活動を展開している。</p>

25 公益財団法人 青森県りんご協会

事業名①	青年部 りんごPR
期 日	平成29年1月23日(月)～27日(金)
場 所	岐阜県、大阪府
活動内容・参加者等	<p>1月24日 岐阜県芥見東小(3年66名、先生4名)、長森西小(3年69名、先生2名、父兄10名)で出前授業。岐阜中央青果にて県産りんご動向の聞き取り。</p> <p>1月27日 大阪府原田小(1年94名、先生6名)で出前授業。大果大阪青果にて県産りんご動向を聞き取り。</p>
取組の具体的な手法や特徴的	<p>県産りんごの栽培や販売について説明し、質問を受け、その後試食を行った。栽培管理については青年部が説明するが、販売については市場担当者が説明。</p>

なこと（他団体との連携など）	（岐阜県中央青果、青森県名古屋情報センター、青森県大阪情報センター、ミスりんご）
----------------	--

26 青森県漁業協同組合連合会

活 動 内 容	
<p>1 青森県産水産物の品質、衛生管理面の向上に努めるとともに、適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係の構築に努めました。</p> <p>2 青森ほたてのPRと、消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施しました。</p> <p>3 青森県ほたて流通振興協会に共催し、県内小学校（4校）で出前講座を実施、県産ほたての長期的な食育推進と消費拡大を図りました。</p> <p>4 ホームページ上での「青森のお魚」「お魚クイズ・ことわざ・漢字」や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図りました。</p> <p>5 県内外の物産展等に出展参加し、県産水産物の販売、マグロの解体販売等で本県の水産物及びその加工品の美味しさをPRし、消費拡大を図りました。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物の更なる啓発と食育の推進に取り組んでいきます。

27 青森県漁協女性組織協議会

活 動 内 容	
<p>各地の漁協女性部の活動を支援。</p> <p>1 部員を対象とした活動への支援</p> <p>（1）地元で獲れる多種多様な魚の料理教室（郷土料理の伝承）</p> <p>（2）子どもの成長を願う行事での料理教室（伝統料理の伝承）</p> <p>2 学校を対象とした活動への支援</p> <p>小学校、中学校、高等学校での料理教室（魚離れ対策、魚の料理法の普及）</p> <p>3 一般県民を対象とした活動への支援</p> <p>各イベントに出店参加して、加工品の販売、魚食普及PR</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地産地消、魚離れ対策、一次二次加工による付加価値をつける魚の料理法、伝統料理、郷土料理の伝承。 今後は保健所とも連携したい。

28 青森県水産物卸売市場協会

事業名 ①	「青森市中央卸売市場食育推進委員会」としての取組 ～青森地区～
事業名	夏休み親子市場体験会
期 日	平成28年07月30日
場 所	青森市中央卸売市場
活 動 内 容	18名（子ども9名、保護者9名）が参加し、市場内施設やせり売りを見学したほか、

参加者等	魚の捌き方教室、メロンの食べ比べなどを行った。
事業名 ②	小中学校への食育活動 ～青森地区～
期 日	平成 28 年 11 月 12 日
場 所	青森市立金沢小学校
参加者	児童 12 名+保護者 12 名
活動内容	青森市立金沢小学校：「学校訪問型料理教室」 (社) 青森県栄養士会から講師を招き、①さけのムニエル、②キャベツの簡単サラダ、 ③みそ汁、④マシュマロミルクプリン を調理
事業名 ③	おさかな食育クッキング ～弘前地区～
期 日	1 第 65 回 平成 28 年 05 月 28 日：東北女子大学 大人 29 名、子ども 12 名
場 所	2 第 66 回 平成 28 年 07 月 23 日：東北女子大学 大人 27 名、子ども 12 名
参加者	3 第 67 回 平成 28 年 09 月 24 日：東北女子大学 大人 19 名、子ども 3 名
	4 第 68 回 平成 28 年 11 月 19 日：東北女子大学 大人 33 名、子ども 5 名
	5 第 69 回 平成 29 年 01 月 28 日：東北女子大学 大人 25 名、子ども 7 名
活動内容	1 東北女子大学と弘前丸魚（相談役）が講師となり、「鯛のブイヤベース」、「ホヤと焼きねぎのサラダ仕立て」を調理。参加料：一人 500 円 2 東北女子大学と弘前丸魚（相談役）が講師となり、「わらさのごま味噌づけ丼」、「青森県ほたてと岩もずくの土佐酢がけ」「ほたてのヒモと夏野菜のアーリオ・オーリオ」を調理。参加料：一人 500 円 3 東北女子大学が講師となり、「しじみとイカのトマトクリームスープスパ」、「さばパン粉焼き～野菜だし<赤>仕立て」、「イカ足の秋のころころサラダ」を調理。参加料：一人 500 円 4 東北女子大学と弘前丸魚が講師となり、「牡蠣と彩り野菜のグラタン」、「白子のレンコンはさみ焼き」、「カレイのわさびドレッシングサラダ仕立て」を調理。参加料：一人 500 円 5 東北女子大学と弘前丸魚（相談役）が講師となり、「ホッキ貝の炊き込みごはん」「新巻鮭の和風ポトフ」「生真たらことカブのさっぱりサラダ」を調理。参加料：一人 500 円
事業名 ④	施設見学会「魚市場を見に行こう」 ～五所川原地区～
期 日	平成 28 年 9 月 24 日
場 所	丸中五所川原中央水産株式会社(卸売市場・会議室)
参加者	(児童 39 名)
活動内容	水産会社社員の説明により、市場の魚介類の競り売りの様子や、マグロ解体等を見学し、流通の仕組みや地元で水揚げされる旬の水産物について学習をする。また、地域市場の現状を知ってもらう。 市場で販売されている旬の魚等の朝食をとりながら、食事のマナーについても勉強。

29 八戸水産加工業協同組合連合会

事業名 ①	第3回ご当地イカ料理コンテスト
期 日	平成28年8月10日
場 所	八戸ポータルミュージアムはっち
活動内容・ 参加者等	八戸ならではの「イカ」料理を発掘し、PRすることで、水揚げ日本一を誇るイカの生産振興および消費拡大のほか、日本一のイカの産地としての知名度向上を図る。応募資格は小学生以上とすることで、地元の食材を活用した食育に貢献。
事業名 ②	第10回八戸前沖さばアイディア料理コンテスト
期 日	平成28年11月6日
場 所	八食センター催事場
活動内容・ 参加者等	今回のテーマを「あっ」と驚く、国際色豊かな「八戸前沖さば料理」として開催。中学生が考案した「さばりこ」が幹事長賞に選ばれて、審査員が経営する国内外の店頭で販売されることに。食を通じて子どもたちの可能性を後押し。

30 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	平成28年4月～平成29年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース（新青森駅内）、産業会館
活動内容・ 参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するために、物産催事や大農林水産祭を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。

31 株式会社中三

事業名 ①	パンづくり教室
期 日	平成28年5月3日(火)～5月5日(木)
場 所	中三本店（青森）地下1階「ボヌール」
活動内容・ 参加者等	親子（2名×1日5組）30名参加。お子様の好きなキャラクターパンやオーソドックスなパンづくりを行い、パン生地の変化を楽しんでいただき、パンの魅力を感じていただきました。

32 株式会社さくら野百貨店

事業名 ①	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」
期 日	毎月青森店にて1回開催
場 所	さくら野青森店
活動内容・ 参加者等	青森店の顧客を対象（20～40名）に、旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
事業名 ②	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」（外部への取組として）
期 日	毎月1回
場 所	企業セミナー

活動内容・参加者等	各企業の顧客を対象（55名）に旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地方の産地・取引先等からの協力もいただき実施
備考	平成29年度も実施予定

3.3 株式会社ユニバース

活動内容	
1 子どもが作る「お弁当の日」開催 2 店内にて「だし活」PR・試食販売 3 食育料理教室の開催（2回） （うち1回は減塩・適塩料理教室） 4 お茶セミナーの開催（1回） 5 毎月「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」（厳選6品掲載）を制作し、全店にて配布 6 「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をPR 7 チラシ上で、「減塩・低カロリー・低脂肪特集」を実施（毎月1回） 8 地産地消の取り組み：県産品フェアを実施（3月、6月） 9 食品残渣の堆肥化による野菜（エコごぼう）の販売（54店舗 BH湊店・PU十和田店除く）	
事業名 ①	「子どもが作るお弁当の日」開催
期 日	平成28年11月16日
場 所	青森県弘前市立城西小学校
活動内容・参加者等	6学年46名の児童を対象に、お弁当作りのすべてを子ども自身が行う「お弁当の日」を開催。”食”について学び感謝の心を育む機会になりました。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	小学校へ食材提供 開催風景・お弁当画像を掲載したパンフレット制作、ポスター掲示（全店にて）
事業名 ②	減塩・適塩 料理教室の開催
期 日	平成28年7月28日
場 所	八戸市
取組の具体的な手法や特徴的なこと	20名様が参加。 食品メーカー様とタイアップして開催。減塩・適塩を意識した調理方法を学び、プロジェクターを使用した食育・健康についての勉強会も開催しました。
事業名 ③	「嶽きみ収穫体験」の開催
期 日	嶽きみ収穫：9月4日
場 所	嶽きみ体験：弘前市の岩木山麓
活動内容・参加者等	嶽きみ体験：実際に収穫し食べて収穫の魅力を味わいました（親子25組50名様）。
事業名 ④	「食育&健康 もっと野菜をたべよう」をテーマにPOP・チラシPR掲載
期 日	毎月実施（チラシ掲載は毎週）

場 所	ユニバース全店、全店チラシ
活動内容・参加者等	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内でPOP活用やチラシ表示することで食育活動の啓蒙を実施しました。
事業名 ⑤	「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」の制作、配布
期 日	毎月発行
場 所	ユニバース全店
活動内容・参加者等	管理栄養士野呂浩子先生監修によるパンフレットレシピに、減塩調理・丈夫な体作りのできるバランスの良いメニュー提案など啓蒙活動を掲載しています。

3 4 株式会社マエダ

事業名 ①	タラを喰らう会
期 日	平成28年2月6日
場 所	マエダ本店
活動内容・参加者等	脇野沢名産のタラを脇野沢婦人会の方々が調理し、提供。 こっこ汁、とも和え、こあえ等、地元で親しまれているタラ料理を食べていただいた。 48名参加
事業名 ②	山菜を喰らう会
期 日	平成28年5月4日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	地元のガイドの方と供に山菜の収穫体験。 収穫後は山菜料理を食べて頂き、地元の食材の魅力を再発見してもらう。 15名参加
事業名 ③	だし活店頭PR
期 日	平成28年5月24日
場 所	ガーラモール店
活動内容・参加者等	ガーラモール店へ知事に来ていただき、だし活商品をお客様へPR。 だし活商品を使った料理をお客様に試食してもらう。
事業名 ④	きのこを喰らう会
期 日	平成28年10月8日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	むつきのこの会のガイドで薬研地区を散策。 散策後は事前に収穫したきのこを使った料理を食べていただく。 15名参加
事業名 ⑤	お弁当の日
期 日	平成28年11月7日
場 所	むつ市立第二田名部小学校 マエダ本店
活動内容・参加者等	小学校で実施しているお弁当の日への協力 1 お弁当の日に向けた調理実習への卵、ウインナーのプレゼント。 2 お弁当の日に合わせて、食材を購入するお客様向けに「お弁当材料」がわかりやすくなるよう売り場表示を工夫。

	3 お弁当の日当日の小学校での写真撮影とその写真をマエダ本店で展示。
事業名 ⑥	むつ市のうまいは日本一
期 日	平成28年8月27日～28日（本店） 平成28年11月26日～27日（ガーラモール店）
場 所	マエダ本店、ガーラモール店
活動内容・ 参加者等	むつ市の特産品を催事場を集め、試食・実演販売の実施。 むつ市キャラクター「ムチュラン」も登場。むつ市よりハッピー、のぼり等協力いただきPRを行った。
事業名 ⑦	お魚料理教室
期 日	平成28年9月10日
場 所	青森市沖館市民センター
活動内容・ 参加者等	お魚・だしマイスターのお話。ホタテの剥き方、イカのさばき方の説明。 その後、イカとホタテを使った料理を親子で調理。 親子8組16名参加。
事業名 ⑧	地場商品コーナーの展開
期 日	通年
場 所	各店
活動内容・ 参加者等	「地産地消」を目的に地場野菜を中心に販売。 全店に販売場所を常設。専任の仕入担当者をおき、野菜以外にも地元加工品を品揃えし、コーナーの充実を行った。数店舗で冷蔵ケースを導入し、漬物等加工品を販売。
事業名 ⑨	お客様向け料理教室の開催
期 日	通年
場 所	青森市、むつ市
活動内容・ 参加者等	食品メーカー様と協力し、現在販売している商品を中心に料理教室を開催。
事業名 ⑩	あおもり食命人事業
期 日	通年
場 所	県内各店舗
活動内容・ 参加者等	穀類を主食に、野菜・魚介類・大豆製品・海藻類をバランス良くとれるよう「まごわやさしい」をキーワードに「あおもり食命人弁当」の販売、天然だしを使用した手作り惣菜の販売をしています。
事業名 ⑪	県産品愛用応援キャンペーンに合わせた県産品フェアの開催
期 日	平成28年9月～11月
場 所	県内各店舗
活動内容・ 参加者等	青森県産品特集のチラシ掲載。 各店では県産品愛用応援キャンペーンの応募企画。
事業名 ⑫	野菜で健康大作戦
期 日	平成28年9月から
場 所	県内各店舗
活動内容・ 参加者等	「野菜で健康大作戦」ののぼり、リーフレットを店内で展開。 ロゴマークのチラシ掲載を行う。

35 株式会社イトーヨーカ堂 青森店

事業名	だし活サロン
期 日	平成29年2月5日(日)
場 所	イトーヨーカドー青森店 1F 催事場
活動内容・参加者等	県総合販売戦略課様とタイアップして「だし活サロン」を開催。 アトラクションとして、ゆるキャラ「にゃんごすたー」によるドラム演奏を実施。合わせて「だし活」のPR活動を行いました。

36 株式会社イトーヨーカ堂 八戸沼館店

事業名①	クッキングサポート
期 日	通年
場 所	イトーヨーカドー八戸沼館店 クッキングサポートコーナー
活動内容・参加者等	クッキングサポートコーナーにて、「あおもりのお手軽家庭料理レシピ集」にある食事バランスのとれた料理を定期的にお客様へ推薦しております。
事業名②	野菜で健康大作戦
期 日	平成28年8月31日～11月30日
場 所	イトーヨーカドー八戸沼館店 青果売場
活動内容・参加者等	「野菜で健康大作戦」ののぼりを立て、地元農家の野菜の販売を実施。

37 イオンリテール株式会社 イオン青森店

活 動 内 容	
1	イオンホームページ「Let's 食育！」(URL http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/)では、さまざまな食育への取組を紹介しています。 また、糖質オフ商品の紹介や、おすすめ健康レシピの提案も実施しています。
2	青森県「短命県返上」「だし活」との連携強化。 「だし活」「おいしい減塩」商品の重点的販売を実施。
3	毎月15日は「じもの日」と銘打って、青森の県産品の「安全・安心」をチラシ訴求するとともに、試食販売を実施。
4	弘前大学と楽天のコラボによる3ダウンレシピ総菜の販売(高血圧予防の取組として、①油分、②糖分、③塩分を減らしたお総菜、サラダを販売しています)。
5	お総菜の揚げ油は、特定保健用食品「健康サララ」を使用し、高カロリー、高コレステロールに配慮した商品を販売。
6	「イオンチアーズクラブ」の活動の中で、環境活動を行うとともに、食育活動も併せて実施しています。
事業名①	「だし活」の取組み
期 日	2016年3月1日より通年
場 所	イオン青森県 食品売場において

活動内容・参加者等	食品売場において、「できるだし」商品を通年コーナー展開。 できるだしを使ったおいしい減塩レシピをチラシに掲載 また、惣菜売場では食命人弁当や、高血圧予防の「3ダウンレシピ」惣菜とサラダを販売し、食品売場全体で短命県返上に取り組んでいる。
事業名 ②	毎月15日は「じもの日」
期 日	2014年10月15日より、イオン、ダイエー、マックスバリュなど全国約2,000店舗にて、地産地消・地産域消を推進する「じもの日」の取り組みを開始。
場 所	イオン青森県 食品売場において
活動内容・参加者等	お客様に鮮度のよい、安全・安心な食品をお届けするため、地元生産者の皆さまとのパートナーシップのもと、旬の地場野菜や地元漁港から直送された鮮魚、地域の特産品など、青森県ならではの品々を試食販売も交えて地域振興に向け取り組みをしています。
事業名 ③	イオン青森チアーズクラブ「県産品を使ってエコクッキング」
期 日	2016年9月11日
場 所	荒川市民センター
活動内容・参加者等	チアーズクラブメンバー10名 協力：NPO法人青森市ストップ温暖化センター 青森県産品を使ってエコクッキングを実施。十三湖産しじみ貝の味噌汁、純輝鶏もも肉のから揚げ、レタスとエビのサラダを作りました。フードマイレージ、フードロスについても知識を深め、片付けはアクリルたわしを使い、自然素材の洗剤をつかって実施しました。

38 紅屋商事株式会社

事業名	クッキングサポートを中心とした食育コミュニケーション活動
期 日	クッキングサポートを中心とした日々の料理提案や毎月19日を含む週を食育週間として（8月、12月を除く）、その週の土曜日に食育大試食会を実施。（変動する場合あり）
場 所	カブセンター、ベニーマート全店（青森新町店は除く） 2014年5月より八戸市に（株）センター長苗代店開店
活動内容・参加者等	1. ①クッキングサポートによる毎日の料理提案。（11時～、15時30分～） ②毎月19日を含む週を食育週間とし、その週の土曜日に大試食会を実施。 参加者：コンシェルジュ（主に食育コミュニケーターの資格を有する） 店舗従業員（日本食育コミュニケーション協会様より指導） 2. 食育コミュニケーション活動の概要 （1）①の活動はクッキングサポートコーナーにおいて毎日若しくは週に3回ほどコミュニケーションをとりながら料理提案をする。 ②の活動は毎月テーマを設け、そのテーマに沿った一汁三菜のメニュー提案により、豊かな「食」に対する啓蒙活動の実施。 （2）コンシェルジュによる果物のテイastingでお客様の声を吸い上げ、品質の向上に努めている。 （3）食育活動における一汁三菜やレシピ提案を実施する際は、食事バランスガイドや食物アレルギー原因物質の提示を行い、それについての説明を実施。

	<p>(4) 使用する食材は極力、その時の旬の生鮮食材、県産食材（ない場合は近県産または国産）を使用。</p> <p>(5) 調味料は合成添加物無添加・合成着色料無添加のものなどをなるべく使用する。</p> <p>3. 食に関する知育活動</p> <p>(1) あおもり食育サポーター様から食育グッズをお借りし、それを使用した知育活動を実施。</p> <p>(2) 店舗独自で手作りの知育グッズによる知育活動の実施（例、野菜350gってどれくらい？、豆搗みゲーム、食育塗り絵、など）。</p> <p>(3) メーカー様ご協力の元、店舗での食育教室実施。 （例、マヨネーズ教室、きのこについて、トマトの栄養について、など）</p> <p>(4) 校外学習でのお仕事見学ツアー実施。 地域の小学校の校外学習の一環で、職場見学・パン作り体験の実施。</p> <p>4. 社外機関との連携。</p> <p>(1) 食育の日の食生活改善推進員様とのコラボレーション（11月～）</p> <p>(2) 東北女子短期大学様とのコラボレーション</p> <p>(3) 八戸学院短期大学様のコラボレーション</p> <p>(4) 青森中央短期大学様のコラボレーション</p> <p>5. 地産地消の取組</p> <p>(1) 青森県産品愛用応援キャンペーンとのコラボレーション（9月） 全店で「地産地消」をテーマに、食育活動に絡めて県産食材・県産商品の推奨販売を実施。</p> <p>(2) カブセンター神田店に三村知事をお迎えし、県産品のPR活動を実施（9月）</p> <p>6. 県の事業との連携</p> <p>(1) 「野菜で健康大作戦」 野菜を食べようキャンペーンの活動。 毎回の食育活動時に野菜摂取向上の呼びかけを行う。</p> <p>(2) 「だし活」事業 毎回の食育活動時に、だし活の広報を行う。 県と食生活改善推進員様たちのお取組を店舗で実施（弘前店、黒石店、大野店、観光通店、長苗代店）</p> <p>(3) 「食命人」事業 協力店舗として広報に努める。</p>
<p>取組の具体的な手法や特徴的なこと</p>	<p>1. 展開方法においては昨年より活動を強化するためにコンシェルジュ課を設置</p> <p>2. 今期は年間を通して「減塩と共食」を提案し続けた。</p> <p>(1) 青森県の平均寿命が最下位だということをお知らせし、その対策として減塩（適塩）についてのPOPやコミュニケーションを実施。</p> <p>(2) コンシェルジュによる日々のメニュー提案による具体的な減塩方法の提案 カリウムを多く含む野菜を摂取することで減塩につながるということを提案し、野菜摂取を啓蒙。 だしを上手に活用することで塩分を控えてもしっかりとした味付けができることを、体験を通じて啓蒙。</p> <p>(3) 共食の大切さを食育通信やPOPで啓蒙</p>

	<p>(4) 減塩アンケートの実施 10月の食育活動時に減塩アンケートを実施。</p> <p>①平均寿命最下位の認識 ②減塩に対する意識調査 ③当店の減塩提案の認識についての調査 ④減塩メニューについての感想</p>
今後取り組みたい事項	<p>1. 社外団体との連携強化 (詳しくは昨年と同様)</p> <p>2. 減塩(適塩)提案に加え、和食についての啓蒙</p> <p>3. あおもり食命人事業に加え、県の各取組との連携強化</p>
備考	<p>1. 各種表彰について</p> <p>(1) 日本食育コミュニケーション活動発表全国大会において、「食育コミュニケーション大賞」、「地域密着大賞」(2013年、2014年、2015年)、「健康提案大賞」(2016年)を受賞</p> <p>(2) フード・アクション・ニッポンアワード2014において、「流通部門 入賞」を受賞</p> <p>2. 今後の活動</p> <p>今期は減塩の取組をさらに深め、県の取組と歩調を合わせ「野菜摂取向上」「だし活」の考えを常に取り込んで「脱・短命県」に取り組みたい。</p> <p>さらに、コンシェルジュ課の設置により、お客様へのマーケティングの強化、また高齢のお客様への思いやりを持った接客を心がけ、時代のニーズに合った活動をしていきたい。</p> <p>また、和食の文化を大切に、和食の利点をクッキングサポート活動や食育大試食会で広く伝えていきたい。</p> <p>第3次食育推進基本計画でも提唱されている「共食」を推奨し、家族や仲間と食べることの大切さや利点を大人にも子供にも伝え、孤食や個食を少なくする活動を継続強化していく。</p>

39 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業名	8020 健康社会フォーラム(県民公開講座)
期日	平成28年11月13日(日)
場所	青森県歯科医師会館(青森市)
活動内容・参加者等	<p>県民対象の健康について関心を持っていただくためのイベントを開催。</p> <p>講演会のほか、各種体験ブースを設置し、そのひとつに噛むことの大切さを体験できる「噛むカムチェックガムコーナー」を設けた。</p> <p>※噛むカムチェックガムとは、専用ガムを噛んでガムの変色により咬合力を測定できるガム。結果により、歯科医師より噛むことの効能や噛み合わせのアドバイスを行う。</p>

40 公益社団法人 青森県看護協会

事業名 ①	看護の日・看護週間事業
期 日	平成28年5月8日～5月14日
場 所	県内6支部及び会員所属病院
活動内容・ 参加者等	地域において一般県民を対象にした生活習慣病予防等の食育推進に係る活動の実施
事業名 ②	「まちの保健室」定期的健康相談事業
期 日	平成28年4月～29年3月
場 所	県内4か所
活動内容・ 参加者等	青森市：道の駅「ゆ～さ浅虫」（16日間・PRイベント5月3日） 青森市：「サンロード青森」（51日間PRイベント9月24・25日） 八戸市：「はっち」（51日間・PRイベント8月21日） 鱒ヶ沢町：海の駅「わんど」（31日間・PRイベント4月24日）
事業名 ③	各市町村における「健康まつり」参画活動
期 日	平成28年度
場 所	県内6支部「健康まつり」開催地
活動内容・ 参加者等	健康まつりに参加した地域の一般市民を対象にした健康相談による食育推進活動の実施
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	看護協会会員が県内各地で県民の健康づくりのために健康相談等を開催し、看護の知識・技術を提供することを継続的に実施している。

41 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
期 日	平成28年度
活動内容・ 参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施。 電話：毎週火曜日10時～12時（出張相談 毎月第2火曜日13時～15時含） HP 随時
備 考	平成29年度も実施予定
事業名 ②	「親子料理学校」あおもり栄養ケア・ステーション 2
期 日	平成28年11月12日
場 所	青森市金沢小学校
活動内容・ 参加者等	青森市中央卸売市場からの依頼で、県産の食材を使った調理実習。
事業名 ③	減塩プロジェクト 「減塩親子料理教室」
期 日	平成28年10月16日
場 所	平川市文化センター
活動内容・ 参加者等	栄養士会の短命県返上の事業「減塩プロジェクト」で乳和食の献立を使っでの親子の料理教室。他に、青森地区で開催。
事業名 ④	減塩プロジェクト事業 1 （弘前市民の健康まつり）
期 日	平成28年7月11、12日

場 所	弘前市総合保健センター
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」620名 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁試飲（567人）、栄養相談（15件）、減塩アンケート、健康おみくじ（ポケットティッシュ）
事業名 ⑤	減塩プロジェクト事業 2 （八戸市環境・健康フェスタ2016）
期 日	平成28年9月25日
場 所	八戸市公会堂
活動内容・ 参加者等	減塩の大切さ、0.7%みそ汁の試飲、野菜摂取、適正体重についての栄養相談、減塩アンケート
事業名 ⑥	減塩プロジェクト事業 3 （三沢市健康フェア2016）
期 日	平成28年10月29日
場 所	三沢市総合福祉センター
活動内容・ 参加者等	減塩食について、市民への減塩食の知識の普及、栄養相談、パネル展示、「減塩エーヨー!!!」アンケートの実施、減塩味噌汁試飲
事業名 ⑦	減塩プロジェクト事業 4 （東北町 健康・福祉まつり）
期 日	平成28年11月5、6日
場 所	上北保健福祉センター
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、アンケート
事業名 ⑧	減塩プロジェクト事業 5
期 日	平成28年11月19、20日
場 所	鶴田町鶴遊館
活動内容・ 参加者等	0.7%みそ汁の試飲、アンケート
事業名 ⑨	減塩プロジェクト事業 6 （健康づくり市民のつどい）
期 日	平成28年11月19、20日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 栄養相談、減塩食品・料理レシピの紹介、減塩の工夫フードモデル、一日の食事モデル展示、健康おみくじ（ポケットティッシュ）、減塩みそ汁、減塩アンケート
事業名 ⑩	減塩プロジェクト事業 7 （あおもり市民健康アップフォーラム）
期 日	平成28年12月18日
場 所	リンクステーションホール青森
活動内容・ 参加者等	栄養相談、減塩味噌汁体験、減塩アンケート
事業名 ⑪	「ウェルネスセミナー」 あおもり栄養ケア・ステーション 3
期 日	平成28年2月1日～12月10日
場 所	県内15カ所
活動内容・ 参加者等	健康寿命アップのための健康を目指した食事やバランス食等の講演、ビデオなど

取組の具体的な手法や特徴的なこと	大塚製薬との委託契約
事業名 ⑫	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション
期 日	平成28年度
場 所	マエダアリーナ（青森市）
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県スポーツ科学センターとの委託事業

4 2 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

活 動 内 容	
<p>1 福祉専門職に対する研修会等において、快適な食生活の方法、栄養管理等についての情報提供を行うとともに、食育の啓発を実施している。</p> <p>2 住民向けの介護講座等にて、家庭介護の充実を図る一方で、食事の楽しさ・大切さを伝えることで食育の啓発を図っている。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門職向けの研修事業に食育の視点を加える。 ・家庭の介護力の向上の一助として、自助具等の普及を図るとともに嚥下に関する研修等を実施し、食事の楽しさ・大切さを伝える。
今後取り組みたい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の食生活改善推進員の中には、ほのぼのの交流協力員を兼務している方もおられることから、保健指導等との連携のもと、きめ細やかな配食サービス等を普及させる必要がある。

4 3 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名 ①	給食部会の開催
期 日	平成28年度：4回開催
場 所	青森市 県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	<p>部会員 18名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支部から選出された部会員で「給食部会」を設置。 日常の給食業務等の課題について話し合う
事業名 ②	平成28年度 給食研修会
期 日	平成28年11月9日（水）
場 所	青森市 ホテル青森
活動内容・参加者等	<p>参加者：248名</p> <p>講 演：「乳幼児期の食育について」</p> <p>講 師：相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 教授 堤ちはる氏</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	「保育所発！子ども元気スリムプラン事業」において、身長・体重入力成長曲線を活用し肥満防止の取組や食育の改善等の指導に繋げている。

なこと	
-----	--

4 4 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

1 公開講座における食育活動の実践

事業名 ①	和食を味わうクッキング講座
期 日	平成28年10月15日
場 所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	一般の方を対象に基本的な和食や青森県の郷土料理を取り入れた調理実習を実施した。
事業名 ②	クリスマス親子クッキング
期 日	平成28年12月3日
場 所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	園児・児童とその保護者を対象に、クリスマスをテーマとした親子で楽しめる内容の調理実習を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の特性を活かし、参加者が楽しみながら調理体験を行い、知識や技術の習得とともに講座を通して食への興味・関心をもつきっかけになるような内容としている。
備 考	どちらの講座も大変好評であった。来年度以降も継続して活動を実施していきたい。

2 教員が依頼された出前講座など研修会での食育の普及活動を実施

事業名 ①	体内時計と健康
期 日	平成28年4月19日
場 所	青森市中央市民センター
活動内容・参加者等	一般の方を対象にどうして規則正しい生活が健康によいのか、どのタイミングでどの位食べたら良いのかについて小学生の保護者対象に講話を行った。
事業名 ②	スポーツと食事
期 日	平成28年5月21日
場 所	三沢市立中央公民館
活動内容・参加者等	市民や食育指導者を対象にスポーツをするうえで特に気をつけなければいけない栄養素や食べるタイミング、水分補給、スポーツ貧血を中心に講話を行った。
事業名 ③	青森県民のための食育～短命県返上を願って～
期 日	平成28年6月16日
場 所	青森市中央市民センター
活動内容・参加者等	青森県の平均寿命と食生活の関係や青森県民の健康増進のためにはどうしたらよいかなどの講話を行った。
事業名 ④	健康と食
期 日	平成28年10月4日
場 所	青森森林管理署

活動内容・参加者等	一般市民を対象に健康で生活するための基本的な栄養の知識や食について講話を行った。
事業名 ⑤	カラダは食べ物でできている
期 日	①平成28年12月1日 ②平成29年1月26日
場 所	①青森県立第一高等養護学校 ②青森県立第二高等養護学校
活動内容・参加者等	寄宿舎で生活する学生や一般市民に対して五大栄養素を中心に望ましい食生活を送るための工夫について講話を行った。
事業名 ⑥	青森中央短期大学食育講座
期 日 場 所	①平成28年6月14日 藤崎保育所 ②平成28年6月17日 馬門小学校 ③平成28年7月12日 よしの保育園 ④平成28年7月15日 横内小学校 ⑤平成28年7月15日 グループホームあおぞら ⑥平成28年7月19日 石川こども園 ⑦平成28年8月24日 野辺地町食生活改善推進委員会 ⑧平成28年9月14日 東北町立第一小学校 ⑨平成28年9月28日 馬門小学校 ⑩平成28年10月11日 三沢保育研究会給食部会 ⑪平成28年10月12日 北辰中学校 ⑫平成28年10月25日 あゆみ地域子育て支援センター ⑬平成28年11月8日 西中野目保育所 ⑭平成28年11月15日 石川こども園 ⑮平成28年11月18日 甲洋小学校 ⑯平成28年11月29日 東北女子短期大学 ⑰平成28年12月9日 下田中学校 ⑱平成28年12月14日 富野こども園 ⑲平成29年3月22日 石川こども園
活動内容・参加者等	園児、児童、保護者、入所者等に対して望ましい食習慣や食生活について講話や実習を行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の専門性を活かしながら、参加者が興味を引くテーマを設定し「食」について学ぶことができる内容としている。また、食育講座では依頼先にニーズに沿った内容を実施している。

3 その他

事業名 ①	翔麗祭
期 日	平成28年9月19～20日
場 所	青森中央短期大学 1号館1階
活動内容・参加者等	本学学園祭において食育教材の展示や食育クイズなどを実施した。
事業名 ②	産学官共同による「あおもりのうまいもの弁当」考案
期 日	平成28年5月～9月
場 所	青森県内

活動内容・参加者等	本学学生が青森県産品を使用した地産地消弁当を考案し、その販売を企業が行った。
事業名 ③	学生による食育講座
期 日	平成29年1月21日
場 所	ベニーマート観光通り店
活動内容・参加者等	朝ごはんの大切さについて幼児保育学科の学生が青森中央短期大学オリジナルの食育ソング&ダンス『あさごはんブルース』の披露と、食物栄養学科の学生が紙芝居を使用した食育講話を行った。

45 あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）

事業名 ①	平成28年度あおもり食育検定
期 日	平成28年6月19日（日）
場 所	主会場 青森中央短期大学（青森市）、東北女子大学（弘前市）、 八戸学院短期大学（八戸市）、むつ来さまい館（むつ市） 団体会場 青森県立三本木農業高等学校（十和田市）、青森県立八戸西高等学校（八戸市）、 青森県立木造高等学校（つがる市）、東北女子短期大学（弘前市）、東北栄養 専門学校（弘前市）、弘果弘前中央青果㈱（弘前市）、弘前地区生活改善グル ープ連絡協議会（弘前市）、青森魚類㈱（青森市）、㈱佐藤長（弘前市）
活動内容・参加者等	会場：県内4会場（主会場）及び9団体会場（準会場）で実施した。 状況：429名が受検し、315名が合格した。団体会場での受検と、全体的な 受検者数が昨年度より増加した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	同一団体で10名以上の受検者に対しては、団体受検（準会場）を推奨している。高等学校及び小売業等で団体受験の利用が増加した。
備 考	平成29年度も県内4会場で実施する。平成29年度のあおもり食育検定については、3月を目途にホームページから受験要項とテキストをダウンロードできるようにする。

46 株式会社 東奥日報社

活 動 内 容	食と健康は重要なテーマであり、これまでも「短命県」の課題を探る連載や県内の食の魅力を紹介する企画等を展開してきた。地元の報道機関として、ニュースを通し食育の推進に努めていきたい。
---------	---